



1 はじめに

平成7年(1995年)阪神・淡路大震災を期に平塚市役所が防災講習を開き受講した30名の女性たちが、平成8年(1996年)に女性防災リーダー平塚パワーズを設立しました。後に平成18年(2006年)に女性防災クラブ平塚パワーズに改名しました。設立当初から視点を家庭の中の防災に置き、身近な物で作る防災グッズの作り方の普及や、応急手当など様々な防災啓発活動を継続して行っています。

2 悩み

設立10年を迎えるころから、活動内容別の資料を作成して研修依頼者との打合せを綿密に行い始めました。

結果、資料がどんどん増えました。多方面から「手元に置いて繰り返し研修をしたいので、冊子にできないか」という声がありました。肝心の資金調達とパワーズの活動を理解し、表現してくださる編集や出版関係者探しが進まずに悩んでいました。ある日、平塚市内で地域活動をする団体の研修会に参加した時の事です。その後のパワーズ活動の方向をがらりと変えてしまったといえる出会いが、一人の女性の「パワーズさん、悩み事はありませんか」から始まりました。「その悩みを、一緒に考えさせてください。」その方は湘南NPOサポートセンター 理事長 坂田美保子さんでした。

3 解決

出会いから数か月のうちに、ある企業の市民活動応援プログラム助成金を2年続けていただく事が可能となり。冊子の編集も、冊子を広げると目の前にパワーズ活動がわかりやすく展開していくようなものにできあがりました。

4 活動の広がり

活動依頼者とのプログラム作成がスムーズになりました。また、できあがった冊子が記事になり、遠く離れた地域活動を進める方からの問い合わせをいただき新たな交流が始まりました。

- ◇英語の冊子は、平塚市にはたくさんの外国籍の方が居住しています。災害時に地元住民と言葉の壁を乗り越えて意思疎通ができるようなものと思い制作が始まりました。
- ◇視覚障害者の会様から防災グッズの紹介を依頼されましたが、伝わらないもどかしさを解消するために、パワーズブックの音訳版・点字版を作成することを平塚点訳赤十字奉仕団様にご相談したところ半年のうちに制作していただきました。微力ですが、多くの方に災害時に役立つことを知っていただきたいという思いからパワーズブックを増刷し各方面に寄贈をしました。印刷や寄贈の詳細は以下のようです。
- ◇防災減災パワーズブック・パンフレット発行履歴

NPO法人湘南NPOサポートセンター製作
 平成20年(2017年)日本語6月第1版発行2,000部
 平成30年(2018年)日本語11月改定版発行1,000部
 平成30年(2018年)英語版10月第1版発行2,000部
 Disaster Preparation Guide
 平成31年(2019年)日本語10月第2版発行2,000部

- ◇防災減災パワーズブックの点訳本・音訳CD製作は
 平成29年(2017年)平塚点訳赤十字奉仕団制作150部



英語版パワーズブック日本語版パワーズブック

- ◇寄贈

以下の寄贈は平成31年(2019年)に行いました。

- ・神奈川県庁へ英語版日本語版等3,000部
- ・平塚市(災害対策課、公民館、図書館)へ日本語版、英語版、点字本音訳CD版

等合計1,500部

- ・平塚市視覚障害者の会へ点字本音訳CD版50部

5 国籍を超えて

JICA(アジア、中東、中南米)の研究プログラムが平塚市で平成30年(2018年)10月に1回目が、翌年には2回目が実施され、平塚パワーズが講師をしました。勿論、教材は防災減災パワーズブックです。

「言葉が通じなくても大丈夫!」参加した会員達は応急手当や雨ガッパづくりを通して市民外交を果たしました。

設立25周年を迎える今年は、記念誌制作・防災減災パワーズブックの増刷などワクワクすることがいっぱいです。



2019年(令和元年)JICA訪問